



みんなに楽しんでもらえる豊田城に

地域交流センター（豊田城）のありかたについて 篠崎 孝之議員

議員

① 市民会館閉鎖後の豊田城の使用状況、② 今後の取り組み、③ 豊田城内にある図書室の位置づけについて伺う。

教育部長

① 24年度は約3万5000人で閉館前の22年度より5000人ほど増加している。② 老朽化が進んでいるため、順次改修を計画していく。③ PRに努め、利用促進を図りたい。

議員

① 維持費を考えれば、イベント等積極的な受け入れを考えなければならぬ。飲食を伴うことで断られることが多いと聞きますが、条例を緩和すべきではないか。② 図書室について、2〜5月になぜ新書が全然入らなかったのか。また、図書室のエアコンは効きが悪いため窓を開けているが、網戸の設置をお願いしたい。図書室があることを市民にどうアピールしていくのか。

生涯学習課長

① 事例ごとに判断し、条例についても今後検討していきたい。

議員

② 今後は計画的に購入を進めていく。網戸の設置も対応したいと考えている。広報・ホームページ等を活用し周知を図りたい。

市長

時代は変わっている。再検討する時期にきていると考える。図書室については、広報等だけではなく、他にもアピールする方法を考えるべきだ。市長は、図書室を総合福祉センターに移動させる考えはあるか。

議員

介護予防事業が新たに実施されるためスペースがなく、今のところ図書室を移動する予定はない。いろいろな面で利用していただけのように、いち早く条例改正を検討してもらいたい。



地域交流センター（豊田城）

ヤギがつなげる人と空き家のネットワーク



空き家バンクの設立とまちおこし 堀越 輝子議員



ヤギによる除草

議員

① 少子高齢化が進み、人口減少社会が現実のものとなりつつある中、空き家率は増加の一途をたどっている。全国の空き家率は13・5%と過去最高を示した。こうした背景のもと全国では空き家バンクを立ち上げ、空き家問題に取り組む自治体が増えている。空き家バンクとは、空き家の賃貸売却を希望する人から申し込みを受けた情報を空き家の利用希望者に紹介する制度である。当市でも空き家条例が制定されたが、さらに進めて空き家の活用に大変有効と思わ

市民生活部長

れる空き家バンク制度について検討・設置する考えはあるか。② 空き地・空き家とヤギ、そしてヤギを飼いたい人をつなぐネットワークをつくり、空き家・空き地の除草問題解決、当市のPR、話題づくり、まちの活性化につながる考えはあるか。ヤギ除草はエコな除草として、世界でも注目されており、日本でも話題となっている。子どもたちがヤギを見に来ることで世代を超えた交流が生まれる。また、糞から出るエンドトキシんに1歳未満の赤ちゃんがばく露することでアトピー・アレルギーの予防効果があるという研究もある。

① 調査したところ、空き家バンクの登録物件の伸び悩みや住宅情報のニーズの違いなどの課題があり、必ずしも移住、交流者増加等の効果に結びついていない現状が見られ、更なる検証が必要である。現時点では、市に存在する危険な空き家を適正管理していくことを第一と考えられている。将来的には空き家バンクについても研究・検討していければと考えている。② 現在のところヤギを活用した施策については考えていない。